

中学校
1年

四則演算活用授業 ～答えが-10になる計算式をつくろう～

藤井寺市立藤井寺中学校

教科

数学

単元名

数の世界の広がり

本時のねらい

特定された数字を用いて、ある数を作る式を考え、表現しようとしている。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

授業支援ソフトを活用することで、クラス全体の意見を共有し、思考力や表現力を培う。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレットPC ・ロイノートまたはスカイメニュー ・スクリーン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	計算問題の解き方を確認する。 ・計算の復習を行う。 ①四則計算 ②かっこ ③累乗	・ロイノート（スカイメニュー）を使って、確認する。 教員からロイノート（スカイメニュー）上で例題「答えを10にするための式」を送信し、取り組ませる
展開 (35分)	【1・2・4・6】の数字を用いて -10になる計算式を作ろう！！ ①スクリーンに例を示し、内容の理解を促す。 ②ロイノートでカードを送信し、各自で考えさせる。 ③ロイノートに試行錯誤して考えた計算方法の過程を残すようにする。 ④個人の考えを提出箱に送信させ、全体で確認する。 ⑤異なる課題「【1・3・6・8】の数字を用いて-10を作ろう」に対して班で考え、ロイノートで意見を集める。	・個別の思考過程をロイノートに残すことで、粘り強く学習に取り組むことができたかを確認する。 ・ロイノートを用いて、スクリーン上で様々な考えを提示することで自分以外の考え方を知ることができる。 ・難しい課題に対して、グループで議論・思考する場面を作り、協働的な学習につなげる。 ・ロイノート上での教員からのアドバイス、コメントなどを受けて、班でさらに考える。（指導に生かす評価）
まとめ (5分)	・振り返りシート記入する。	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：教員から送られてきた例題に取り組む様子

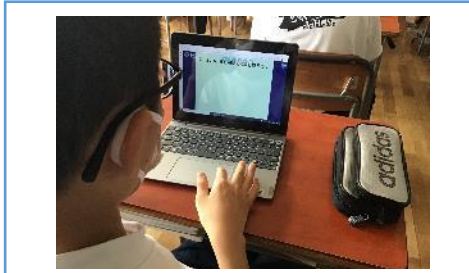


写真2：自分で「-10」になる計算を考えようとしている様子

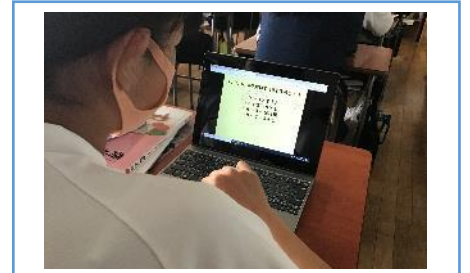


写真3：生徒端末に配信されたクラスメイトの意見を確認している様子

児童生徒の反応や変容

- ・数学が苦手な生徒であっても、一生懸命考えた自らの解答をスクリーン上で投影して共有されることで、自信を持ち、さらに積極的に学習に取り組もうとしていた。
- ・他者の意見をたくさん聞けることにより、授業に対して一体感が生まれ、学習に対して前向きに取り組めるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・普段、発表することが少ない生徒であっても、スクリーン上の画面共有で簡単に意見共有をすることができ、生徒個々の思考が深まり、広げることができた。
- ・一人ひとりの意見をスクリーンで映す際、画面下部に生徒個人名が出るため、発問内容によっては、名前表示を非表示にするなどの工夫が必要である。